

平成19年7月30日

日本民間放送連盟  
会長 広瀬道貞 殿

ひろしま DP ボランティア基金返還訴訟原告の会  
代表 鎌田 まりみ  
他 原告 34 名

## アーク・エンジェルス問題に関する報道についての要望書

標記団体は、平成18年9月にひろしまドックぱーくのおよそ500頭の犬のレスキューにのりだし、各メディアではこの様子取材し報道を重ねました。その結果、当団体には多額の支援金と物資が集まる結果となり、メディアの力の大きさを如実に見せつけました。

しかし、その後当団体には現場のボランティアからの内部告発により、様々な疑惑がわき出すようになりました。

疑惑を列挙いたしますと、以下のように捨て置けぬ事実があげられます。

### 1. 犬の頭数

本当は580頭もいなかったのではないかという疑惑。AAも当初は480頭と発表していたのに、いつの間にか580頭に数が増えている。

### 2. AAがひろしまDPに入ってから、いわゆる高額で売れる希少犬が多数行方不明になっている。

### 3. 多くの犬が妊娠していた事実を獣医師が認め、パピー室も設け、毎日のように子犬が生まれていると広島支部長のブログなどで発表もあったにもかかわらず、子犬が消えている。

### 4. すでに、10月の時点で十分な募金が集まりながら11月の末まで医療費の赤字がかさんでいるとアナウンスし支援金や高額な物資を募り続けた。

### 5. 倉庫に山のように積まれていた物資が一夜にして消えていることがあった。また、AAの大阪の物資送付先がクレジットキャッシュ会社であった。

### 6. 12月の会見では6000万円位の支援金があったと報告したのに1/1の中国新聞に実は2度にわたり4000万円以上の引き出しがあり、支援金総額は少なく見積もっても1億1千万円を超えるという報道をされたら、急にその額を認めた。

### 7. 数々の疑問に対し支援者からくみ戻し要求や、避妊去勢代の補助金を出すように要請されそれに渋々応じる形で、補助や組戻しを行ったが、そのアナウンスはHP上でこっそりと行われ不十分なものであった。しかも、その組戻しもいい加減なものであり、完全に要求者に対して支払われることはなかった。

8. 支援金総額の半分以上は会費やグッズの売り上げで4000万くらいあるといいながら3月の収支報告では、わずか数百万円であった。
9. 収支報告の1億数千万円の半分に当たる5700万円以上が実はシェルター基金と銘打った支援金であると発表したのが、彼らの主張通りとすると、11月末でAAが発表した支援者リストの中にはシェルター基金と記載して募金したのはたった1名であった。AAの主張通りシェルター基金が半額以上集まったのだとすれば、この1名が5000万円以上寄付していないとつじつまの合わない話になる。

この事件は、マスコミやネット報道の功罪が大きく影響しています。

今後の報道としては、特に

1. 恐喝未遂容疑で訴えられていること
2. レスキューは計画的詐欺であったこと・犬の頭数など未だに明確にしていないこと
3. ボランティア基金等返還請求裁判が行われている事実
4. 金の使途と脱税問題

などを、報道してほしいと願っています。この事実を多くの国民が知らないということは、これからの日本に根付こうとしているボランティア精神を愚弄するものであり、動物愛護精神を後退させるものでもあります。また、悪徳ブリーダーと愛護団体の関係を助長してしまう危険性をはらんでおります。

以上、今後の民放各社のこの問題に対して、誠実な報道を望むべく、今後の真実追究への前向きなご助力をお願いする次第です。